

県人会や県系企業、沖縄アーティストなど本土の沖縄ニュースをお届けします

ナイチは今

NEWS

1

## 沖縄戦の教訓、平和への想像力に 牛島貞満氏、立教大で講演

立教大学池袋キャンパスで8月23日に「沖縄を学ぶ・沖縄から学ぶ」と題した講演会が開かれ、100人超が聴講した。講師は沖縄大学地域研究所特別研究員の牛島貞満氏(元小学校教諭)。同氏は太平洋戦争における第32軍司令官の牛島満中將を祖父に持つ。小学校教諭時代に沖縄戦での祖父の行動を知り、沖縄戦研究を始めた経緯を語った。講演では、1945年4月1日の沖縄本島への米軍上陸から第32軍の南部撤退、長引く地上戦による甚大な住民犠牲に至るまでの過程を、日米の公式記録と沖縄戦体験者の証言を合わせて解説。その上で沖縄戦での牛島中將の最後の決断は間違いだったと結論づけている。教職課程の一環として企画された今回の講演では、教育現場での授業構成についても具体的な工夫を紹介。米軍による戦時中の艦砲弾の破片や、自作による第32軍首里司令部壕の模型を持ち込み、参加者が戦争の実相を身近に感じる内容となった。同氏は最後に「過去の記憶が曖昧なままでは、未来の戦争を防ぐことはできない。正しい歴史認識を持つことが、平和への想像力となる」と力強く語った。(玉城久美子)



- 1.艦砲弾を手にしながら話す牛島氏
- 2.牛島氏自作の第32軍首里司令部壕の模型 多くの参加者から質問が相次いだ
- 3.第32軍首里司令部壕の構造をカメラを使って解説